

## [030]九州人類学会報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2338944>

---

出版情報：九州人類学会報. 30, 2003-07-05. Kyushu Anthropological Association  
バージョン：  
権利関係：

# 目 次

## 《九州人類学会報30号記念特集(1)―九州人類学研究会の30年を振り返って―》

内藤 莞爾	九州50年よもやま話	1
松永 和人	若き日の思い出―文化人類学への志向―	4
波平恵美子	「九州人類学研究会」誕生の前後	6
江淵 一公	九人研のあゆみを思う―創立30周年を祝って―	9
清水 展	九大・六本松の人類学	12
大谷 裕文	九人研雑感―アマチュアリズムとプロフェッショナリズム―	15
【寄稿論文】		
吉田 禎吾	霊力の観念―比較論的覚書―	17

## 《九州人類学会報30号記念特集(2)

### ―平成14年「九人研オータムセミナー」より―

#### セッションA 「地域づくりと博物館―国内における人類学的な実践と考察―」

##### 〈趣旨説明〉

永吉 守	地域づくりと博物館―国内における人類学的な実践と考察―	27
〈報 告〉		
永吉 守	エコミュージアム型産業遺産保存・活用のNPOの実践と研究	28
梶原 宏之	アソミュゼへの試み―エコミュゼを超えて―	39
高田 浩二	博物館の情報化と〈総合的な学習の時間〉 ―九州地域ネットワーク事業の試み―	45
徳安 祐子	過疎のムラを外へとつなぐ ―梶尾神楽と博物館・メディア・研究者―	51
〈コメント〉		
福住 廉	ミュージアムの彼方へ	57

#### セッションB 「システムのカップリングについて―宗教システムとその環境―」

##### 〈趣旨説明〉

伊藤 泰信	システムのカップリングについて―宗教システムとその環境―	59
〈報 告〉		
片岡 樹	神の掟と人の掟 ―タイ国の山地民キリスト教徒にみる「宗教」と「慣習」―	63
佐々木拓雄	インドネシアにおける宗教と政治 ―「世俗化」を模索するムスリム知識人―	68
大橋亜由美	治療者の知識とカーバリ社会における医療と宗教	75

伊藤 泰信	ニュージーランド先住民における学と宗教 —ゼマンティックとシステム分化形態との相関—	81
〈コメント〉		
村上 忠良	「システムのカップリングについて —宗教システムとその環境—」へのコメント	88
セッションC 「宗教をどうとらえるか—中国、台湾の事例から—」		
〈趣旨説明〉		
長谷千代子	宗教をどうとらえるか—中国、台湾の事例から—	92
〈報告〉		
長谷千代子	中国における宗教統制政策と「宗教」および「風俗習慣」	92
金縄 初美	中国の風俗習慣と宗教活動—摩梭人の母系制を中心に—	99
王 貞月	台湾の宗教政策と人々の宗教信仰活動 —シャーマニズムを中心として—	105
〈コメント〉		
成末 繁郎	宗教をどうとらえるか	111
討 論		118
《九州人類学会報30号記念特集(3)—帝国医療の予感—》		
池田 光穂	帝国医療の予感—その修辞上の戦略—	119
信田 敏宏	病気としてのラター？—ラターの医療化をめぐる—	122
花渕 馨也	帝国医療の揺らぎ—コモロ植民地政策における伝統医療排斥の失敗—	127
奥野 克巳	ポストコロニアル状況下の近代医療 —サラワク先住民プナンの今日的課題をめぐる—	136
研究会活動報告		
研究会活動報告		145
会員名簿		147